

インタードメイン株式会社

小型風力発電・風況調査から体力発電へ

インタードメイン株式会社は平成元年に創業し、小型風力発電機の販売を開始、平成6年に本社を横浜に移転し、平成26年で創業25周年を迎えます。同社は風況観測装置の販売から遠隔操作の風況観測装置の開発、レーザーで測るドップラーライダー観測の提供など風力発電分野で事業を拡張しています。



代表取締役
杉本 信策氏

● 風力発電が事業の柱

エネルギー資源が少ない日本で今注目されているのが、太陽光や風力、バイオマス、太陽熱、地熱など自然の力による再生可能エネルギーです。政府による「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」の対象となる風力に対するニーズも様々な方面で高まっています。

当社はマイクロ風力発電機を事業の柱にして風力発電の世界に参入しました。この分野で先進的なドイツ、イギリス、デンマークなどの研究・技術・市場情報をいち早く吸収し、国内市場へ展開していくことで、社会に貢献する風力発電を信念に実績を積み重ねていきたいと考えています。

この業界はいろいろな風力発電機や参入者が入っては消え、来ては去ってゆくような浮沈が激しいところです。的確に市場ニーズや技術シーズをつかんで商品化へつなげるためには、学会や国際会議への出席や、現地調査や仕入れ先からの幅広い情報収集活動が不可欠です。

● 小型風力発電に特化

同社の得意分野・得意技術は、風力発電の中でも特に20kw未満の小型風力発電、揚水風車、風況調査です。小型風力発電機は電気のないところでの小電力の利用、例えばヨットやバンガローでの電源が主目的で、自然エネルギーを利用する他の小規模発電同様、バッテリーに蓄電して電気を使います。すなわちバッ



▲ 小型風力発電



▲ ドップラーライダーによる風況調査

テリーへの充電を主な目的としています。一方、揚水風車は風の力で起こす回転動力をポンプ駆動の力に変換し、地下水を汲み上げたり、池の水や海の水を循環することができます。発電用の風車と違ってトルクを得ているため、風車の回転数は低く、風を切る音も出ないといった特長があります。また、風況観測とは風力エネルギー資源を利用しようとする前に、資源自体があるかないかを調べることをいいます。特に諸外国と気候が異なり四季がはっきりしている日本の場合、最低1年間の観測が必要となります。日本は地形が複雑なので、計画する風力発電サイトに極力近い場所で観測することが必要です。なお商用風力発電機は年々大型化が進んでいるため、高層の風況観測が必要となってきました。



▲ 揚水発電

● どのような場所で活用されているか？

設置のために車輛・重機や電源を必要とせず、また短期で安上がりに機器が設置できるといったノウハウを強みとしているため、国内外各所の未電化の場所や街路灯、非常用電源などに活用されています。

● 今後の計画

体力発電をこれからの戦略商品と考えています。特許も出願済みで今後も商品開発と市場の開拓に力を入れていく予定です。

体力発電とは、例えばフィットネスマシンと発電機を組み合わせ、人の運動によるエネルギーで発電して蓄え、系統連系で流して節電につなげるようなことです。すなわち、本来は熱になって逃げてしまうエネルギーの有効活用です。

さらに、個人の運動情報をクラウドのデータベースに集めて、ユーザー、スポンサーに配信していくなど、健康と運動、電力とエコエネルギー、情報とメディアの3つの側面から相乗効果を狙った事業に育てていきたいと考えています。そのためにはマーケティングをどのように進めていくかが課題となっています。

会社概要

インタードメイン株式会社

本社：横浜市金沢区福浦1-1-1 横浜金沢ハイテクセンター

TEL：045-788-9595 FAX：045-788-9596

設立：平成元年創業

事業内容：小型風力発電機、揚水風車、体力発電、風況観測

URL：<http://www.enecafe.com>